

# 数と計算②

第1学年

同じ数ずつ

## つまずきの実態

～こんな児童の姿が見られませんか？～

同じ数ずつ配るなどの場面が理解できない。

問題：子どもが3人います。みかんを1人に2こずつあげます。みんなでなんこいりますか。



あげるって書いてあるから、みかんは減るはず。

同じ数ずつ集めることイメージができない。

「 $3+2=5$ 」？



「同じ数ずつ」の意味が理解できず、誤った立式をしている。

## 単元の概要

### 目標

同じに分ける分け方として、同じ数ずつ分けたり、何人かに等分したりする経験をする。

### 内容

- 同じ数ずつを集める活動
- 同じ数ずつ分類する活動

※次ページに詳細を掲載

## 学習内容の系統と各学年に見られるつまずき

学習内容 (単元名)		つまずきの実態
第6学年	分数÷分数	→ わる数が分数の場面を具体的にとらえられず、分数の除法の意味を式や図を用いて説明できない。
第5学年	小数÷小数	→ 小数の除法の意味を式や図を用いて説明できない。
第4学年	小数÷整数	→ わられる数がわる数より小さくなると、場面を具体的にとらえにくくなり、正しく図や式に表すことができない。
第3学年	あまりのあるわり算	→ あまりのあるわり算、あまりの意味を理解することができない。文章題におけるあまりの処理の仕方を理解することができない。
	わり算の意味	→ わり算の意味を理解することや等分除と包含除の違いを理解することができない。
第2学年	かけ算	→ 数のまとまりや「1つ分の数」と「いくつ分」の関係が理解できない。
第1学年	同じ数ずつ	→ 同じ数ずつ配るなどの場面が理解できない。

### つまずき解消に向けた指導の工夫 ①

何を求めるかを把握し、「1人2個ずつ」に着目させ、ワークシートを使って、ブロックを操作しながら「2個ずつあげる」の意味を考える活動

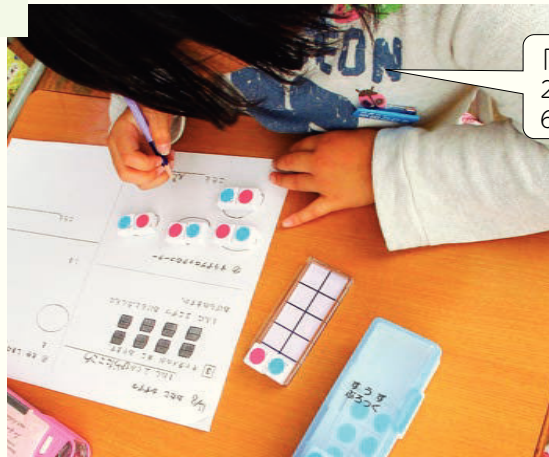
活動のねらい▶ 数図ブロックを操作し、「〇ずつあげる」ことのイメージをもてるようにする。

ここが  
ポイント

題意を読み取らせるため、ワークシートに、  
①「数図ブロックを操作する」、②「絵や図にする」、③「式にする」  
の各コーナーを設けて、段階的に整理し、2個ずつあげることを理解できるようにする。

### 期待される児童の姿

子どもが3人います。  
みかんを1人に2こずつあげます。みんなで  
なんこいりますか。



「2個ずつ」は、どの子にも  
2個あげるから、2個、4個、  
6個。6個いるな。

ワークシートの手順に沿って、  
2個ずつブロックを動かすこと  
により、2個ずつあげることの  
イメージをもつことができる。

### つまずき解消に向けた指導の工夫 ②

ブロックを操作し、それを絵や式を用いて表し、説明する活動

活動のねらい▶ 「〇ずつ分ける」ことについて、自分なりの言葉で説明することができるようにする。

ここが  
ポイント

同じ数ずつ分けることについての理解を深めるため、①または②を行いながらグループで説明し合うようにする。

- ①数図ブロックを操作しながら
- ②絵や図、式を指さしながら

### 期待される児童の姿

チョコレート12こを  
おなじかずずつわけま  
す。3人では、1人にな  
んこずつですか。



3人に分けるからお皿  
は3枚だね。

12個を1個ずつ3枚のお皿に入れて  
いくと、4個ずつに分けられるよ。

ブロックを操作したことを絵  
や式で表し、それを伝え合う  
ことにより、「同じ数ずつ」の  
理解を深めることができる。